



今号の写真:たかつえスキー場からの景色

《目次》

- トピックス
 - ・就農相談会in南郷スキー場を開催しました
 - ・南郷トマト60周年記念大会が開催されました
 - ・「モクコレ2023」にみなみあいづ森林ネットワークが出展しました
 - ・林業就業希望者を対象とした林業体験等を開催しました
 - ・国の食料・農業・農村政策審議会に渡部雅俊氏(南会津町)が出席し発表しました
 - ・農業普及推進懇談会を開催しました
 - ・【豊かなむらづくり顕彰事業】「下郷町倉区」が全国表彰へ推薦されました
 - ・土地連南会津支部研修会が開催されました
 - ・多面的機能支払交付金中間指導を実施しました
 - ・森林クラウドを用いた森林経営計画作成の研修会を開催しました
 - ・第50回只見ふるさとの雪まつりに参加しました
 - ・特産品開発講習会を開催しました
 - ・南会津地方新規就農者等担い手確保・育成連携協議会を開催しました
 - ・令和4年度南会津地方園芸振興推進会議を開催しました
 - ・農家民宿懇談会が開催されました
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・福島県指導農業士新規認定者及び退任者を御紹介します
 - ・林地開発許可制度の一部が変わります
 - ・新たな公式YouTubeチャンネル「ふくしま旬物語」が開設されました
 - ・農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」配信中
- コラム
 - ・キラリと光る南会津の6次化商品～じゅうねん石鮎 NICO BABY～
 - ・輝く南会津の農林業者～落合宏明さん・来海さん夫妻～

令和5年3月24日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

就農相談会in南郷スキー場を開催しました

2月25日に会津高原南郷スキー場で就農相談会を開催しました。

南郷スキー場をはじめ、南会津地域のスキー場では多くの地元農業者が働いており、そこで生まれた交流から就農に至った方が多数おります。当事務所では、コロナ禍で減少した南会津での農業との出会いを再度増加させるために、相談会を開催しました。当日はあいにくの空模様となりましたが、多くのスキーヤーやスノーボーダーでにぎわっており、5名の方が相談ブースを訪れました。

相談会など特別な機会でなくても、常時就農相談を受け付けていますので、お気軽に御連絡ください。(農業振興普及部)



相談会の様子



就農相談フォーム

南郷トマト60周年記念大会が開催されました

2月6日に南郷トマト60周年記念大会が開催されました。小野孝組合長のあいさつの後、市場や各関係機関から祝辞をいただいた後に、南郷トマトで採用している品種「桃太郎」シリーズの育成元であるタキイ種苗株式会社 ふくなが ゆたか 福永 寛 取締役研究農場長から「タキイと南郷トマトの関わり の歴史について」と題した記念講演がありました。

また、記念大会に先立ち、令和4年度南郷トマト生産組合総会が開催され、その中で「令和4年度 南郷トマト多収穫共励会」の表彰が行われました。当事務所農業振興普及部 佐藤部長からの審査講評の後、見事、最優秀賞である福島県知事賞を受賞された(有)さんべ農園様に、渡邊所長から賞状と記念品が授与されました。

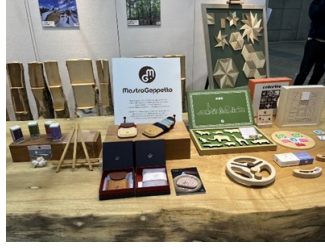


渡邊所長から(有)さんべ農園様に賞状と記念品を授与

(農業振興普及部)

「モクコレ2023」にみなみあいづ森林ネットワークが出展しました

WOODコレクション(モクコレ)2023は全国の国産木材を活用した建材や雑貨、玩具など様々な木製品を取り扱う展示商談会で、1月31日、2月1日の2日間にわたり東京ビックサイトで開催されました。



出展ブースの様子

今回、福島県ブースにおいて南会津地域のNPO法人みなみあいづ森林ネットワークが出展

し、南会津の木材産業を紹介するパネルやウッドウォールアート（広葉樹材を使った壁飾り）の展示、アロマや玩具、経木（木を紙のように薄く削ったもの）などの木製品の紹介を行いました。

来場者の中には様々な広葉樹があることに興味を持たれた方もおり、新たな販路拡大が期待されます。（森林林業部）

林業就業希望者を対象とした林業体験等を開催しました

当事務所では、新たに林業の仕事に就きたいと考えている人へ就業前に林業体験を行う機会を提供し、新規林業就業者の確保と定着を促進しています。

11月に下郷町森林組合職員が講師となり、県外からの就業希望者と高校生の2名へ森林調査等を指導しました。

また、南会津町の林業事業体は林業アカデミーふくしま第1期生の3名を招き、休日を利用して当地域での広葉樹伐採やきのご原木の生産方法を教授しました。より多く林業の現場作業を経験して仕事のやりがいや社会貢献への意識が高まるとともに、実際に現場で働いている先輩方との交流を重ねて将来の姿をイメージすることができます。今年度は、延べ6日間で5名が参加し、そのうち3名が当地域に就業する予定となっています。



広葉樹伐採の指導の様子

今後、地域の林業を支える人材の確保や育成に向けて、林業事業体を支援し、町村や様々な関係者等と連携を密にして取り組んでまいります。（森林林業部）

国の食料・農業・農村政策審議会に渡部雅俊氏(南会津町)が出席し発表しました

現行の「食料・農業・農村基本法」は平成11年の制定以降、農村では人口減少・高齢化の進展等情勢が変化していることから、今後、集落活動の停滞や生活環境の悪化を招く恐れが考えられます。

農業生産活動を維持するために集落機能の維持は不可欠であり、国は食料・農業・農村政策審議会に基本法検証部会（部会長：中嶋康博氏・東京大学大学院農学生命科学研究科教授（委員：20名））を設け、基本法の検証と見直しを検討しています。



審議会の様子

1月27日に農林水産省で開催された第8回部会では、南会津町「なかあらい大地を育む会」の渡部雅俊氏が出席し、「集落の現状・集落の活動体制・活性化計画書の策定・地区住民の理解と協力・各種事業活動の紹介・今後の課題と提案等」について発表を行いました。（農村整備部）

農業普及推進懇談会を開催しました

2月16日、南会津町役場3階正庁において、令和4年度南会津地域農業普及推進懇談会を開催しました。普及指導計画に基づいて取り組んでいる、ひとつづくり（担い手対策）、ものづくり（産地・流通対策）、地域づくり（地域活性化対策）各課題ごとに今年度の普及指導活動実績を報告するとともに、令和5年度の普及指導計画案について説明しました。

また、普及指導活動の成果として、南会津地域の農業経営の柱となっている園芸4品目（南郷トマト、アスパラガス、りんどう、宿根かすみそう）の新規就農者受入に向けた研修体制構築を支援した活動内容について報告しました。

農業者や関係機関・団体の皆さまからいただいた意見等につきましては、新たな普及指導計画に反映させてまいります。



スライドによる普及指導活動実績報告の様子

(農業振興普及部)

【豊かなむらづくり顕彰事業】「下郷町倉区」が全国表彰へ推薦されました

下郷町倉区が1月30日に福島市において「令和4年度豊かなむらづくり顕彰事業」表彰を受けました。併せて、令和5年度豊かなむらづくり全国表彰事業へ県代表として推薦されました。南会津から全国表彰への推薦は令和元年以来、3年ぶりとなります。

下郷町倉区は、ほ場整備事業を契機として様々な話し合いが行われ、地域の合意をもとにむらづくりを進めました。その活動は担い手への農地集積や、広範囲にわたる鳥獣被害防止対策などの地域農業の振興にとどまらず、農道脇への彼岸花植栽や抑草シートによる法面の管理など、地区の環境整備にも取り組んでいます。

また、地域の文化継承として円蔵堰を後世に伝え続けるための冊子の作成と配布、ウォーキングイベントの開催、さらに住民の結びつきを強める取組として、町事業を活用した倉村芸術祭や子供から高齢者までが参加する盆踊り等の開催など多岐にわたります。非農家を含む区民全員が各種事業に参加し、地域コミュニティが活性化していることが住みよい農村づくりとして高い評価を受けました。

今後も南会津地域のむらづくりのモデルとして、活動の発展が期待されます。

(農業振興普及部)



表彰を受けた渡部辰雄区長(左)と渡部幸彦さん(右)

土地連南会津支部研修会が開催されました

福島県土地改良事業団体連合会南会津支部研修会は、管内各町の農業農村整備事業担当者を対象に管内担当者会議も兼ねて毎年行われています。今年度は、令和4年11月24日に南会津町の林業の振興拠点施設「きとね」で開催され、所有者不明農地※、施設管理、多面的機能支払交付金の3つの議題について、県の担当者から説明を受けました。

その中でも所有者不明農地については、ほ場整備事業実施にあたり、最終的な換地処分を見据えた場合、大きな課題となります。

農村整備部では、これまで以上に関係機関との連携を図りながら課題の解決に取り組んでいきたいと考えております。引き続きみなさまの御協力をお願いします。

※所有者不明農地：相続の際に土地の名義の変更が行われておらず所有者が分からなくなってしまう、もしくは所有者は分かっているにもかかわらず連絡がつかない状態になった土地のことです。

(農村整備部)

多面的機能支払交付金中間指導を実施しました

県は多面的機能支払交付金事業において事業が適正に執行されるよう「中間指導の運用」を定めており、事業実施市町村が活動組織に対して中間指導を実施しています。その際の支援として、当事務所職員と県土地連職員が同席しアドバイスをを行っています。

当事務所では新型コロナウイルス感染症の心配もありましたが、直接組織の方々と対面し、具体的な課題や悩みを相談をすることが重要と考え、3つの町と協力し対面開催を実施しました。

当日は、活動項目に対する取組や予算執行状況、必要書類の整理状況を確認し、同時に各組織が抱えた各種課題についても聴き取りを行いました。

当事務所では、毎年2月にこの様な場を設け、進捗状況の確認と適切な事務遂行を行っていき
(農村整備部)



『制度や様式はじめ、各種手引きやパンフレットについてもお問い合わせ下さい』

森林クラウドを用いた森林経営計画作成の研修会を開催しました

1月30日、森林経営計画の作成及びその認定を行う森林組合や町村担当者を対象に、ふくしま森林クラウドシステムの研修を開催しました。

森林経営計画は、「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、自ら、森林の伐採や植栽・保育等一体的なまとまりを持った計画を立て、効率的な施業と適切な森林の保護を図ることを目的としています。

所有者や森林の状況が細かく分かれている森林において、必要となる計画を簡便な方法で作れるよう森林クラウドに入っている図面や作成ソフトの使い方を共有したことで、作業時間の短縮や認定方法への理解が深まりました。参加者からは「ぜひ使いたい」、「委託契約書にもデータが反映できるか」など積極的な意見が聞かれました。

引き続き、効率的な森林整備の実施に向けて技術的な支援を行ってまいります。(森林林業部)



研修会の様子

第50回只見ふるさとの雪まつりに参加しました

2月11日～12日にかけて第50回只見ふるさとの雪まつりが只見町只見線広場（JR只見駅前）で3年振りに開催されました。

当事務所は、NPO法人もりの案内人の会南会津支部の協力を得て、南会津の森林資源のPR、当地域への理解促進とさらなる知名度の向上を図りました。

当日は、もりの案内人が森林資源等について説明しながら、来場者に自宅などで製作できる木工クラフトキットを配布して、その写真のインスタグラム投稿を依頼し、南会津地域の魅力発信の機会としました。2日間とも天気がよく、多くの来場者があり用意したキットは全て配布し、来場者からも大好評でした。(企画部)



雪まつりの様子

特産品開発講習会を開催しました

2月15日に南会津町たのせ地区で、あいづ“まるごと”ネットアドバイザー山際博美氏を講師に迎え、「特産品開発講習会」を開催しました。

実技講習では、地元の素材を生かした特産品づくりを目指し、今までとは違ったお焼きを作りました。

「そば粉入りの生地」「米粉を使った生地」「地場産の素材を生かした具材」の活用について講師から助言をいただきました。

たのせ地区の皆さんは、以前から地元で栽培している農産物を使った6次化商品の開発に積極的に取り組んでいます。

併せて、今年度から新たに「たのせの農村マルシェ」が始まったことを受け、その振り返り（検証）と次年度に向けた展望への意見交換を行いました。参加した皆さんは真剣な表情で山際アドバイザーの言葉に耳を傾け、素材を生かす商品づくりや効果的な販売方法などについても熱心に書き留めていました。

当事務所では、これからも南会津で地域産業6次化に取り組む団体を支援してまいります。



講習会の様子



開発した6次化商品

(企画部)

南会津地方新規就農者等担い手確保・育成連携協議会を開催しました

2月22日に南会津町御蔵入交流館において「南会津地方新規就農者等担い手確保・育成連携協議会」を開催しました。この協議会は南会津地域の新規就農者等担い手の確保・育成のため町、JA、指導農業士、県農業振興公社などで構成しています。

当事務所の新規就農者育成・確保に係る活動や、各町、関係部署の取組について報告し、意見交換を行いました。会議の中では、今年度からの新たな取組として、バスツアーによる南会津地域の就農現地相談会の活動事例などを紹介しました。

これからも、関係機関一丸となって、南会津地域の就農者確保に向けて活動してまいります。

(農業振興普及部)

令和4年度南会津地方園芸振興推進会議を開催しました

2月15日に御蔵入交流館多目的ホールにおいて、令和4年度南会津地方園芸振興推進会議を開催しました。

この会議は、令和3年3月に策定した「福島県園芸振興プロジェクト」に基づき、南会津地域のトマト、アスパラガス、りんどう、宿根かすみそうの4品目についての振興計画を、構成員（町、JA、生産部会（生産組合））と連携して進行管理しながら、管内の園芸振興に取り組むものです。

会議自体の設置は昨年度行いましたが、令和3年度の会議はコロナ禍により書面開催だったため、対面での開催は今回が初めてとなりました。当事務所の各専門担当より、令和4年度の品目別実績が報告され、今後の取組について協議や意見交換を行いました。関係者との情報共有が図られたことで、連携を一層深めることができました。



推進会議の様子

今後も、品目別の計画を進行管理しながら、管内の園芸振興を力強く推進してまいります。

(農業振興普及部)

農家民宿懇談会が開催されました

南会津着地型観光推進協議会では、農家に宿泊して農作業体験や農家生活体験を行う教育旅行の受入に力を入れています。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い受入中止を余儀なくされ、協力農家の受入意欲の低下が懸念されています。

そのような中、協議会は、2月1日に当事務所との共催で一般社団法人喜多方市観光物産協会グリーン・ツーリズムサポートセンターを訪れ、農家民宿懇談会を開催しました。南会津地域からは農家民宿経営者等7名が参加し、両地域の受入機関の概要説明の後、喜多方の農家民宿経営者と懇談会を行い、受入における合意形成や受入側の意識など様々な意見を交わしました。

喜多方グリーン・ツーリズムサポートセンターでは、令和5年度に農家民泊を伴う学校教育旅行を2校受入予定であり、同じ会津地域の先進地視察を通して南会津地域での教育旅行受入再開に勢いをつけるきっかけとなりました。

今後当事務所ではこのような活動を支援し、農家民泊受入を推進してまいります。(企画部)



懇談会の様子

農林事務所からのお知らせ

福島県指導農業士新規認定者及び退任者を御紹介します

1月27日に福島市の福島テルサにおいて認定証交付式が開催されました。南会津からは只見町でりんどうを主とした花きと水稲を栽培する目黒広信さんが新たに指導農業士に認定されました。

一方、同じ只見町で南郷トマトと水稲を栽培する(有)さんべ農園代表の三瓶清志さんが本年度末をもって指導農業士を退任されます。三瓶さんは15年にわたり研修生の受け入れ等をはじめ、南会津地域の農業後継者の育成に御尽力いただきました。指導農業士としての功績に対して同日、知事から感謝状が贈られました。改めて三瓶さんの活動に対して深く感謝するとともに、今後ますますの御活躍を御祈念いたします。



左：目黒広信さん
右：三瓶清志さん

現在、県では農林水産業振興計画で令和12年度に県内340人以上の新規就農者確保を目標としています。小山力丸さん、渡部貴人さん(下郷町)、湯田浩仁さん、小野孝さん、芳賀拓也さん、渡辺恵子さん(南会津町)に新任の目黒さんを加えた7名の指導農業士の皆さんには引き続き、農村青少年の育成に協力をいただきます。(農業振興普及部)

林地開発許可制度の一部が変わります

森林が持つ水源のかん養、土砂災害の防止などの公益的機能を維持するため、森林法で一定の行為に対して許可等の手続きが定められています。

その中の林地開発許可制度について、令和5年4月1日より制度の一部が以下のとおり変更になります。

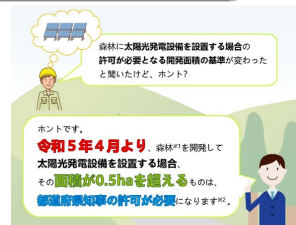
○林地開発許可制度

森林法第5条の規定により、都道府県知事がたてた地域森林計画の対象森林(保安林等を除く)において、太陽光発電設備を設置する場合、開発面積が0.5haを超える場合は、都道府県知事の許可が必要です。

※令和5年3月31日までに太陽光発電設備の設置に必要な測量・設計等の準備行為を終えた上で、既に土地の開発行為に着手している場合は、林地開発許可の取得は不要です。

上記の行為を行う場合は、事前に農林事務所へお問い合わせください。

(森林林業部)



● 林地開発許可制度が変わります!!

○ 森林法を改正して太陽光発電設備を設置する場合、許可が必要となる開発面積の基準が変わったと聞いたけど、ホント?

ホントです。
令和5年4月より、森林法を改正して太陽光発電設備を設置する場合、その面積が0.5haを超えるものは、都道府県知事の許可が必要になります。

これまで、開発面積が1haを超える場合、都道府県知事による林地開発許可が必要となります。

○ 林地開発許可を取得せずに開発を行った場合には、森林法に基づき、罰金等の罰則が科せられます。

林野庁ホームページより引用

新たな公式YouTubeチャンネル「ふくしま旬物語」が開設されました

農林水産部では、新たな公式YouTubeチャンネル「ふくしま旬物語」を開設しました。これは、本県の主力農林水産物について、産地・生産者の長年にわたる創意工夫に加え、地理的表示（GI）、認証GAPの取得、県オリジナル品種など「福島ならではの」魅力を伝えることを目的としています。現在、伊達のあんぼ柿とふくふくしめじについての動画が掲載されていますのでぜひ御覧ください。（企画部）

○チャンネルURL

<https://www.youtube.com/@user-ot1mm9mx8e>



二次元コード

農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」配信中

今年度から始まった農林水産部公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」。

南会津にかかわる動画としては「安心・安全！！サルナシ農家さんのFGAP更新審査に同行してみた！」「きのこ原木ができるまで」「只見町雪上伐採体験会に参加してみた！」「南会津たのせ地区においでよ」「南会津森林・林業・木材産業フォトコンテスト開催中です」（フォトコンテストの応募は終了しています。）が新たに投稿されていますのでぜひ御覧ください。

今後も動画を通して積極的に南会津地域の話題や農林産物の魅力を発信していきます。（企画部）



二次元コード

コ ラ ム

キラリと光る南会津の6次化商品～じゅうねん石鱈 NICO BABY～

只見町にある株式会社げんき村では、じゅうねん（えごま）を使用した様々な商品を販売しています。今回ご紹介する「じゅうねん石鱈 NICO BABY」は、じゅうねんを搾って作られるじゅうねん油を配合した逸品です！

熱に弱く酸化しやすいじゅうねん油を、石鱈にするのは技術的にとても難しかったとのこと。業者さんに何件も断られ、やっと良い返事をいただいた熊本県の石鱈屋さんで7カ月の月日を費やして試作を重ね完成したのが本商品です。「コールドプロセス法」という製法で、熱を加えず1か月以上熟成させて製造することでじゅうねん油の成分を壊すことなく石鱈に閉じ込められるそうです。

手間暇かけて作られる本商品、しっとりと滑らかな洗い心地をお楽しみいただけます。ぜひ、直接手に取ってお試してください！（企画部）

○株式会社げんき村HP

<http://www.egoma-tadami.jp/>



じゅうねん石鱈 NICO BABY

本商品は南会津農林事務所公式Instagram(インスタグラム)にて紹介しています。こちらもぜひ御覧ください！

○南会津農林事務所公式Instagram(インスタグラム)

https://www.instagram.com/minamiaizu_nourin/

輝く南会津の農林業者～落合宏明さん・来海さん夫妻～

輝く南会津の農林業者インタビュー、今回は南会津町南郷地区で南郷トマトを栽培されている落合宏明さん、来海さん夫妻にインタビューを行いました。

インタビュアー： 就農のきっかけを教えてください。

落合さん夫妻： 東京で会社員をしていましたが独立して仕事をしたい、自然の豊かなところで暮らしたい、故郷の福島に貢献したいといった思いが長年ありました。そういったライフスタイルと農業が合っていると思ったため就農を決意しました。

インタビュアー： いろいろな作物のなかで南郷トマトを選ばれた理由を教えてください。

落合さん夫妻： 東京で行われた南郷トマトのセミナーで話を聞いたときに助成や研修制度が充実しており、新規就農者を受け入れる体制が整っていると感じたのが大きな理由です。何度か南会津に足を運んでからも農家の方が熱意を持ち一丸となっていると感じました。

また、農業をやるならブランド野菜を育てたいという考えもあったので南郷トマトを選びました。

インタビュアー： トマト栽培や農業経営のこだわりなどあれば教えてください。

落合さん夫妻： 自分でも安心して食べられるものをつくりたいという思いがあり、直接トマトにかかる水は、近くにある高清水自然公園のきれいな湧き水をくんできて使用し栽培しています。

インタビュアー： これから農業を始めたいと考えている人へメッセージをお願いします。

落合さん夫妻： 私達は移住を決断してから半年程度の短い準備期間で南会津に転居してきました、そういった勢いも時には大事かも知れません。本気で就農する気持ちがあれば、みんなが助けてくれますし、なんとかなる部分もあります。また南会津に足を運んだ際には農家や先輩移住者などいろいろな人の話を聞いて、理想に近い形での就農を目指していただきたいと思います。

インタビュアー： 最後に今後の目標について教えてください。

落合さん夫妻： 南郷トマト生産組合で毎年、賞を設けていて今年度は新人賞をいただきました。引き続き賞をいただけるように励んでいきたいと思えます。

落合さん夫妻へのインタビューは農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」にも掲載されていますのでそちらもあわせてご覧ください。
(企画部)

南会津農林事務所では公式Instagramのフォロワーを募集しています！

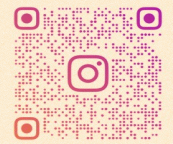
○最近の主な投稿

「林業研究グループ等活動発表会で里山自然塾(下郷町)が優秀賞を受賞！」

「合同会社ねっか 焼酎の仕込み① 米麴作り」

この他にも農林産物の話題やイベント情報を発信しています。

右の二次元バーコードを読み取りぜひフォローしてください。



MINAMIAIZU_NOURIN

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>
電話 0241 - 62 - 5252 FAX 0241 - 62 - 5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。